

業界展望

平製パンの巻

資本金六十萬円で昭和七年、株式組織でやつと時の波にのり現在従業員二十二名が県下に誇る電気釜、ガス釜石釜の設備を備えてパン類の日産小麦粉十六袋から二十袋

市川パンの巻

資本金七十万円、工場は四丁目と旧坂の二箇所におき「煙草のパン工場」で自働機、従業員は十五名お月産卅袋までの能力を持つている。「パン」といつたら市川は上々の小麦粉と卵、バターを多量に用いて一個当りの重量は規定より二、三割余分に仕上げ製菓のあつたパンを製造して「市川パン」をよりよく消費者に親しんでもらう機運にまつて行くといわれている

立秋に関する五章

第一章 品物
立秋の声をきくと夏の品物は一掃大荒出しの広告でその行くべきところへ落着いてゆく、そして秋のシナモノが相変つて顔を見せる。忙しくシナモノがならへられ、ひびけられ、シナモノは赤く、青くそしてハリキつてサイライツしやい、金がつまれば死ぬ死ぬといふのは商人ばかりではない。

第二章 ともものこし

ちつとウロコシが家裏でみられるようになった、現れなければならなかつたものがよく現れたのである。嬉しいのである。しかし、ちつとキビをムクときへらひ小気味のよいものは、毛がカシ色に染りチヨリチヨリとネジれて

第三章 西瓜

今年は西瓜が高値なので、つまり品不足だからメッタに口に入らない人も多かる、そこで西瓜の代りに西瓜をうごかしてやる、

第四章 自転車

秋立つと風はヒヤリして撒水自動車の方は市内を廻る回数も間遠うになつて、女の子が自転車にスカートをはくがして牛若丸のようにヒラリとまたがれる場合も立つ秋ともなれば「ムリムリ」なやあしと風をうけてのけすのは、やうやくすいてきた、食慾のせいである、立秋の乗物といふものはたとえ自転車でもムリしてまたがつてしまつてからである。

第五章 梨

梨がその水々しいまるみを店頭にみせ始めた、梨にそのキノを脱いでちつとポタポタとシルをし

商店名おとり込み替歌募集

商店名商品を織り込んだ替歌を募集します

- ① 商店名は自由
- ② 歌の種類も自由
- ③ 十五字以内のこと
- ④ 優秀な作品に金半円を呈し、賞金を贈る作品にはその旨を明記します
- ⑤ 締切は時定に到着順にのせま
- ⑥ 送り先は平市本自 三和新聞社 替歌係

商店名おとり込み替歌

例一
ふるさとの皮を向いていこうとなし、うす皮の時はなつかしきかな
例二
空のあなただの
松坂屋
品が安いと
人のうち
あつた友と
上京し
帽子もつて
帰るよぬ
上野小路の
松坂屋
品が安いと
人はいう

押目を買え

おのへく会社にどうも美に容易ならぬので日銀に対して借替を認める様に交渉中であるが比較的には手帳換部門に多いの注目して押目を買え

米作不況

米作不況も一応この前が相場も米国の対外援助計画及本日の大前報の声明に依る東洋アジア地域に対する援助も十一億ドルと推定され、このまま進行するといふことである、相場も此の二週間に上り続け、米も消化して延びて来た、さて先週の足取りをみると、対中共資貿易の懸念から化学繊維食品セメントから大きく上り始め、

から自費した経営をしている、十月までは百五十万円に増資しより一層の製品生産能力を高めると断言している

資本金七十万円、工場は四丁目と旧坂の二箇所におき「煙草のパン工場」で自働機、従業員は十五名お月産卅袋までの能力を持つている。「パン」といつたら市川は上々の小麦粉と卵、バターを多量に用いて一個当りの重量は規定より二、三割余分に仕上げ製菓のあつたパンを製造して「市川パン」をよりよく消費者に親しんでもらう機運にまつて行くといわれている

今年には西瓜が高値なので、つまり品不足だからメッタに口に入らない人も多かる、そこで西瓜の代りに西瓜をうごかしてやる、

秋立つと風はヒヤリして撒水自動車の方は市内を廻る回数も間遠うになつて、女の子が自転車にスカートをはくがして牛若丸のようにヒラリとまたがれる場合も立つ秋ともなれば「ムリムリ」なやあしと風をうけてのけすのは、やうやくすいてきた、食慾のせいである、立秋の乗物といふものはたとえ自転車でもムリしてまたがつてしまつてからである。

梨がその水々しいまるみを店頭にみせ始めた、梨にそのキノを脱いでちつとポタポタとシルをし

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない

ただたてて又を終るの待ちどろしく思ふなりついでしまつた甘汁が口中にあれる感は何にたとえようか

梨の味は秋の味覚の先駆であり秋の味覚は梨の味覚の先駆である、つまり梨という植物は春の果実であるから遠くない